



吉子川

令和6年6月29日(金)
学校だより NO.19
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸 美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条 (6月)

いつも気をつけている言葉づかい
自分も大事、相手も大事

◇ 子どもの声で授業をつくる！～言語活動の充実～ ◇

右の写真は、1年生の算数科の授業のひとコマです。今年、吉子川小学校では子どもの言語活動が充実した授業づくりを目指し、研修主任の古山智子先生を中心に、校内の研修会（先生方の勉強会）を多く行っています。言語活動というのは、「話す」「聞く」「書く」「読む」という活動を通して、課題を解決することです。授業中の子ども達が、生き生きと自分の考えを述べるようになるには、「学習集団の親和性」と「子ども達自身の自尊感情」も重要になります。そこで、吉子川小学校の先生方は、放課後、子ども達の力を伸ばすための授業の在り方について研修を行っているのです。



その先生方の努力の成果が、昨日の1年生の授業にはっきりと表れていました。のびのびと、そして、生き生きと自分の考えを発表する子ども。友達の発表を自分の考えと比べて聞いている子ども。さらに、考えがまとまらない友達に、答えを教えるのではなく、ヒントを与えるような発言をする子ども…。



それだけでは終わりません。担任の先生の問いかけに、さらに思考をめぐらせ、次々に自分の考えを述べる姿がありました。主体的・対話的で深い学びの姿です。これには、職場体験で先生の仕事を体験しに来ていた中学生も「自分だったら答えられないかも知れない。1年生すごい！」と大絶賛でした。とても嬉しい学びの姿でした。

◇ 白い羽根募金活動～JRC委員会～ ◇

今週は毎朝、JRC委員会の子供達が募金活動を行っていました。最終日の今日は、その活動を手助けしようとする子供達もいて、吉子川小学校児童の協力的、優しさを実感しました。また、JRC委員会の子供達の活動により、赤十字活動への理解が深まり、社会貢献や奉仕の心を育むことができました。



ご存じですか。白以外にも、こんな色のはねの募金があります。



「赤いはね共同募金」

地域福祉のため

「緑の募金」

森林づくりの活動のため

「青いはね募金」

海の事故を防ぐ活動のため

「海のはね募金」

水難遺児の支援のため

「黄色い羽根募金」

腎臓移植の支援のため

